

# 水藻の養鶏飼料化試験

熊谷重秋\*・田中 実\*・藤井久治\*

KUMAGAE, S., TANAKA, M. & FUJII, H. Feeding Experiment of the Water Weed (*Spirodela polyrhiza*) for Poultry

未利用飼料資源活用の見地から筑後水田沼沢地帯に繁茂する水藻（うきくさ）の養鶏用緑餌としての価値を明らかにするため試験した。

試験の方法 白色レグホーン種2年鶏40羽を用いて緑餌として試験区には水藻（水分96.3%，粗蛋白質1.95%）を，対照区には竜舌菜（水分88.84%，粗蛋

白質2.89%）を30年1月24日から3月13日迄（第1回試験第1期）は何れも乾燥して（風乾歩合水藻4.1%，竜舌菜11.8%）又3月14日から4月17日迄（第1回試験第2期）は試験区は乾燥水藻を，対照区は新鮮竜舌菜を，更に8月7日から9月11日迄（第2回試験，供試鶏白レグ30羽）は両区何れも新鮮のものとして各期何れも1日1羽当生換算50gmとして試

\* 福岡縣農業試験場

験区及び対照区何れも同一の濃厚飼料(大麦 40, 米糠 20, 麩 20, 魚粉 20 (重量比) に無機物としてコロイカルを全飼料の 2.5%, 食塩を同じく 0.5% 混じたものを 1日1羽 100 gm) に混じて濃厚飼料と共に練餌として1日1回に分与した。

試験成績 (イ) 産卵成績 (第1表) (ロ) 卵質調査 (第2表)。

(ハ) 体重, 飼料摂取量及び健康状態 体重は試験全期を通じて両区の間で大差なく, また給与した飼料は各区何れも毎回食了し, 健康状態にも異常あるものを認めなかった。

考察要旨 (1) 緑餌として鶏に乾燥水藻及び乾燥竜舌菜を給与して産卵率を調査すると両者の間に著しい差異はないが, 乾燥水藻と生竜舌菜とを比較すると, 後者の方が産卵率は上昇し, 更に生水藻と生竜舌菜では両者間に殆んど差異を認めない。

第 1 表

区別	第 1 回 試 験			第 2 回 試 験	
	予備期 (30.1.17 ~23)	第 1 期 (30.1.24 ~3.13)	第 2 期 (30.3.14 ~4.17)	予備期 (30.8.1 ~8.7)	試験期 (30.8.8 ~9.11)
試験区	47.3%	53.0%	53.2%	65.7%	52.0%
対照区	45.6%	47.6%	62.3%	67.6%	52.3%

(2) 水藻及び竜舌菜(乾燥及び新鮮物)は何れを給与しても卵殻, 卵白, 卵黄の各重量には影響ないが卵黄色は乾燥水藻を長期間給与すると著しく退色した新鮮緑餌は乾燥緑餌よりも一層卵黄色を濃厚にし竜舌菜より水藻の方が濃厚な程度は高い。

(3) 試験全期を通じて鶏の体重健康状態に異常を認めなかった。

(4) 以上の結果から新鮮水藻は生竜舌菜の代用として充分鶏の緑餌に利用できる。

第 2 表

期 別	区 別	卵 重				卵 黄 色
		総 重 gm	卵 殻 gm	卵 白 gm	卵 黄 gm	
第 1 回 試 験	試験区	55.6	6.5	31.3	17.8	卍 (2) 卍 (1) 卍 (1) 卍 (6)
		55.4	6.8	30.1	17.5	卍 (2) 卍 (3) 卍 (2) 卍 (3)
	対照区	57.8	6.9	32.3	18.6	卍 (2) 卍 (8)
		57.8	7.6	31.2	19.0	卍 (5) 卍 (2) 卍 (2) 卍 (1)
第 2 回 試 験	試験区	58.6	6.7	34.4	17.5	卍 (7) 卍 (3)
	対照区	56.1	6.4	31.7	18.0	卍 (5) 卍 (4) 卍 (1)

備考 (1) 卵黄色は外観的に濃厚の程度を 卍 > 卍 > 卍 > 卍 の順序に示す。  
(2) ( ) 内の数字は箇数を示し各期各区何れも 10 箇平均とす。